

事業番号	06 04 16	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	NAGANO WINE醸造技術支援事業			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト	1-1-2、次世代産業創出、9-2-3 信州ブランドの確立			課・室	ものづくり振興課	
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興 1 成長産業の創出			E-mail	mono@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H26 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	信州ワインバレー構想に基づき、既存ワイナリー及びワイナリー設立を目指す農業者等の醸造技術向上を支援することにより、高品質なNAGANO WINEの醸造体制を確立する。				
現状(予算編成時)	平成25年度からワイン生産アカデミー事業が開始され、県内外から40名を超える受講生が集まっている。ワイナリー設立を目標とする受講生の中には、既にワイン用ぶどうの生産に取り組み、醸造技術の習得を希望している者もいる。				
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施: 検討中	【左記の説明、根拠法令等】 ワイン醸造に関する技術支援は、県が提唱した信州ワインバレー構想に基づくものであり、県の関与は必要。			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H26) ワイナリーでの研修受入:5人 支援件数(セミナー受講含む):50件以上				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績		
			H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
	里親ワイナリーによる醸造技術研修	直接	833	287	833
醸造技術向上セミナーの開催	直接	76	76	76	
技術顧問によるアドバイス	直接	1,757	1,757	1,851	
ぶどう仕込み試験の実施	直接	-	-	234	
		合計	2,666	2,120	2,994

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算			2,666	2,994
	補正予算				
	合計(A)	0	0	2,666	2,994
	一般財源			2,666	2,894
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	100
	決算額(B)			2,120	
概算人件費			0.33	0.33	
概算人件費(C)	0	0	2,725	2,725	
概算事業費(B(A)+C)	0	0	4,845	5,719	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
ワイナリーでの研修受入		5	4	未達成	5
支援件数		50	173	達成	50

目標に対する成果の状況	ワイナリーでの研修受入人数は、研修予定者と受入先の折合が合わなかったことから、目標の5名に達しなかった。支援件数は、目標の50件以上を達成できた。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 平成26年度事業に加え、「醸造技術テキスト」の作成やぶどう仕込み試験などを実施し、ワイン醸造技術の強化を図っていく。
--------------------	---